

令和3年度

生駒市教育委員会主催 夏期研修会のまとめ

令和3年9月

令和3年度

生駒市教育委員会主催
夏期研修会

各研修会参加者アンケート

令和3年度生駒市教委等主催夏期研修一覧

研修会名	内 容	対象者	期 日	人数
生駒市教育研修会	深く学ぶクラスを育てる教師の『仕掛け』 ～子どもたち一人ひとりを受け止める教師をめざして～ 講師 京都教育大学附属桃山小学校 若松俊介氏	小中教職員	8月3日 (火)	211
生駒市熱中症 予防対策研修会	コロナ禍中での熱中症対策 ～熱中症の起こる仕組み、日常の水分補給の重要性 免疫 と乳酸菌の関係～ 講師 大塚製薬株式会社 南井隆志氏	保幼小中 教職員 保護者	8月17日 (火)	181
特別支援教育 コーディネーター 研修会	学びのユニバーサルデザイン 講師 北海道教育大学 教授 川俣智路氏	幼小中特 別支援 コーディネーター	8月2日 (月)	39
小学校外国語 授業づくり研修	小学校外国語における音と文字の指導について	小学校教員	8月2日 (月)	18
生駒市英語 小中連携会議	令和3年度英語教育小中連携計画について	小中教職員	8月2日 (月)	25

生駒市教育研修会 実績報告書

【日 時】 令和3年8月3日（火）14：00～16：00

【方 法】 「Meet」を活用したオンライン研修

【講 師】 京都教育大学附属桃山小学校 若松 俊介 氏

【参加者】 211名（小学校168名、中学校43名）

【テーマ】 深く学ぶクラスを育てる教師の『仕掛け』

～子どもたち一人ひとりを受け止める教師をめざして～

【ねらい】 ・新学習指導要領の改訂の中で、「主体的・対話的で深い学び」と「情報活用能力」が求められている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と授業の中でのICT活用能力を推進するために理解と見識を深める。

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4 あまり良くない	5 良くない
小学校	45	83	33	5	1
中学校	7	26	9	1	0
合計	52	109	42	6	1

◆ 主なご意見

- ・子ども主体の授業を進めたいと思っていたので、参考になった。
- ・ロイロノートの活用方法がまだまだあると分かった。
- ・自律性と協働性ということを中心に、教師がどのように子どもたちに関わっていけるかということをとくさん例示してもらって勉強になった。
- ・具体的な国語の授業における活動があったので分かりやすかった。
- ・自分自身の普段の授業を振り返ることができた。
- ・テーマとポイントがはっきりしていて分かりやすかった。
- ・みんなと一緒に求めないということが心に残った。
- ・「ICTを利用した学習の場をつくる」2学期からのタブレットを活用した授業の参考になった。
- ・今までICTを活用するための授業になっていることに気付くことができた。教師の仕掛けをこちらで準備をして子どもたちが、主体的・協働的に学べる環境を作ることが大事だと思った。
- ・どうしても教師からの教え込み型になりがちなので、子どもが自ら学ぶ方法を知ることができた。
- ・デジタルの良さアナログの良さを理解してICT機器を活用したい子どもたちの「知っている、分かる、使える」をよりきめ細やかに観ていくことで子どもの学びを深める手助けに繋げることができればと思う。
- ・「問い」の本質をどのように捉えるのか、ということを実際に分かりやすく教えていただいた。ややもすると、教師の言いたいことを言い聞かせているだけになりかねない部分を、「子どもたちの問いかけを無視していないか」「考えたことが学習につながっているか」「問いを

もって学ぶことが楽しい個の学びの広がり」に発展しているかを教員の一人一人が検証する良い機会をいただいたと思う。

- ・評価が4観点から3観点へと変更され、これからの授業の在り方を考えていく必要がある中で、この研修は大いに役に立ちました。
- ・オンラインのためか聞き取りづらい部分があった。
- ・画面の文字が小さくて見づらかった。
- ・手元に資料があるとよかった。

2. 本日の研修時間について

	1 とても長い	2 長い	3 ちょうどよい	4 短い	5 非常に短い
小学校	6	52	108	2	0
中学校	0	24	18	1	0
合計	6	76	126	3	0

◆ 主なご意見

- ・オンラインであったので画面を見るのが多く、途中で休憩をはさんでほしかった。
- ・手元に資料がなかったので、画面の文字を読み取るのが難しかった。
- ・研修時間としてはちょうど良かった。

3. 本日の研修は、授業実践、子どもたちへの指導等に役立ちますか

	1 とても役に立つ	2 役に立つ	3 あまり役に立たない	4 役に立たない	5 分らない
小学校	35	117	6	0	9
中学校	5	35	2	0	1
合計	40	152	8	0	10

◆ 主なご意見

- ・子どもどうしの対話を大切に、子どもたちが主体的に学ぶことを改めて意識できたので、2学期からの授業に生かしたい。
- ・思考ツールやICT活用の方法など分かりやすかった。低学年でもコツコツとタブレットの使用を積み重ねていこうと思った。
- ・子どもたちの問いを大切に、子どもたちが学習を進めていくことに共感した。グループ作りには、子どもの考えや話し合える雰囲気づくりなど、子どもたちのことをよく見ていないとできないと思う。学級経営を行う上でもとても大切なことだと思った。
- ・タブレットを使った授業づくりの経験がなく不安が多いが、少しずつの積み重ねの中で子どもも教師も進んでいけばよいことを聞いて、少し勇気づけられた。
- ・子どもたちの自主性・協働性を育てる大切さを再認識できた。また、「問い」に対するグルーピングのあり方について、自分のやり方を反省する機会にもなった。
- ・「子どもたちと共につくる、考える」「一人一人を受け止める」というワードが心に響いた。
- ・どの話も勉強になりましたが、最後の「教師として大切にしたいこと」で、気持ちが初心に戻りました。

- ・小学校での取り組みは、やはり中学校とは異なる部分があり、新たな発見があった。子どもたちにどのように考えさせ、子どもたちが主体となる授業を作り上げるための授業を今後できるように、教材研究を積み重ねていきたい。

4. 今後、市教委主催の研修で実施してほしい研修内容がありましたら、ご記入ください。

- ・タブレットの活用方法
- ・愛着障がい
- ・アンガーマネジメント
- ・不登校
- ・新学習指導要領改訂に伴う各教科毎の具体的な評価方法
- ・教科教育での ICT 利用
- ・保護者対応
- ・危機管理（リスクマネジメント）
- ・特別支援の ICT 活用
- ・令和の日本型教育
- ・ヤングケアラー
- ・ABA（適応行動分析）
- ・プログラミング学習
- ・発達障害の児童や家庭に対する支援方法
- ・いじめ問題

5. 「令和3年度 生駒市教育研修会」アンケート結果の検証

- ・今回の研修会の参加者のうち、76.7%が今回の研修会は「とても良い」「良い」と回答している。新学習指導要領にあった、児童生徒の自主性・協働性を研修テーマに関心の高いテーマであったと思われる。
- ・研修会の時間については、59.7%の参加者が「ちょうどよい」と回答している。「長い」と回答した参加者も 36%いる。これはオンライン研修で画面をずっと見ておかないといけないという形態が影響したものと思われる。途中で休憩をはさまなかったことも原因であると思われる。次回、オンラインで研修をすることがあれば検討する必要がある。
- ・91.4%の参加者が授業実践に「とても役に立つ」「役に立つ」と回答している。「子どもたちが主体的に学ぶ仕掛け」「With ICT」「子どもの問いを大切に子どもと学ぶ」などたくさんキーワードがあり、参加者の感想からも、2学期実践に取り入れられるヒントが見つかったことが伺える。ICTの活用も含めて2学期からの取り組みに期待したい。

熱中症予防対策研修会 実績報告書

【日 時】 令和3年8月17日（火）14：30～16：30

【場 所】 生駒市 たけまるホール

【講 師】 大塚製薬株式会社 大阪支店 奈良出張所 営業課 課長補佐 南井 隆志 氏

【参加者】 181名（幼稚園・こども園・保育園19名、保護者7名、小学校103名、中学校52名）

【テーマ】 コロナ禍中での熱中症対策

【ねらい】 ・平成28年8月16日、生駒市立中学校において、運動部活動中に熱中症により男子生徒が救急搬送され、その後亡くなるという重大事故が発生した。生駒市では、二度とこのような事故を起こさないよう、そして事故を忘れないよう8月16日を「安全を確認する日」とし、生駒市教職員全員で、熱中症予防と対策について理解と見識を深める。

【コロナウイルス感染予防対策】

- ・席の間隔を一席分開ける。
- ・参加者のマスクの着用及び手指消毒の徹底
- ・マイクの消毒及びマイクカバーの使用
- ・参加者の座席把握（アンケート用紙に氏名と座席番号を記入）

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4 あまり良くない	5 良くない
保護者	2	4	1	0	0
保・幼	5	12	2	0	0
小学校	22	66	14	0	1
中学校	15	30	7	0	0
合計	44	112	24	0	1

◆ 主なご意見

- ・ご自身の体験談も交えてお話していただき分かりやすかった。
- ・熱中症の症状、メカニズムがよく分かった。また、朝食をしっかり摂る、水分（イオン）を意識的に摂るなどの実践が大切だと分かった。
- ・水やお茶だけではなく、塩分や糖분을摂ることの大切さが分かった。また、自発的脱水には十分気をつけないといけないので、こまめな水分と回数、塩分を摂るように指導したい。
- ・内容はよかったが、いつもの熱中症対策と同じ。コロナ禍中で例年より気をつけることや指導者としてできることをもっと具体的に教えてほしい。
- ・熱中症になりやすい体質があることを初めて知った。発汗する水分量と必要な水分量のバランスが大切だと分かった。
- ・熱中症について年一回確認する大切さを感じた。免疫については新しく知った内容が多かった。
- ・教育現場での実践や対応事例が紹介されず、教職員を対象とした研修としては不十分さを感じた。
- ・熱中症について、再認識する機会となった。「熱中する」という言葉の意味にもあるように、一

つのことに集中すると、のどの渇きに気付かないということ意識して、給水させないといけないと思った。

- ・5年前の事故を風化させないために研修を続けていくべきである。
- ・この状況下でオンラインでなかったのか、参加するまで不安で疑問でした。
- ・乳酸菌の種類の違いで、作用が違うことを知った。
- ・熱中症がすぐ治らず1週間ぐらいかかるというのを初めて知った。生徒本人が大丈夫と言ってもその後活動させるのは危険だと思った。

2. 本日の研修の内容は、授業実践や生活で役立ちますか

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4 あまり良くない	5 わからない
保護者	2	5	0	0	0
保・幼	8	10	1	0	0
小学校	26	72	3	2	0
中学校	15	35	2	0	0
合計	51	122	6	2	0

◆ 主なご意見

- ・生活の中での脱水量や、水分補給は飲むだけでなく、朝食も大事な水分補給になること、普段から水分補給をし、汗をかきやすい体を作っておくなど、熱中症にならないために家庭でもできることを保護者に伝えたい。
- ・のどが渇いてからでは、もう脱水2%であることを知って、こまめな水分補給の大切さを知った。子どもたちに一口でも飲むように勧めようと思う。
- ・体育の学習や、部活動の中で水分補給の行い方を実践していきたい
- ・熱中症だけでなく免疫力についても理解を深めることができた。
- ・自発的脱水という言葉が知らなかったので、塩分を摂る必要性が理屈としてよく分かりませんでした。今日の講演でよく理解ができた。
- ・朝食や睡眠の大切さを子どもたちに伝えていきたい。また声をかけるだけでなく本当に水分を補給しているかも確認することが大切だと思った。
- ・学級通信にも載せて、熱中症対策について保護者へも伝えたい。
- ・資料に熱中症防止啓発動画の紹介があったので、ぜひ学校でも視聴する時間を取りたいと思った。
- ・熱中症になってからの対応も必要ですが、ならないようにするために日々子どもたちに伝えていこうと思う。
- ・熱中症のメカニズムをしっかりと解説していただいたので、子どもたちにもしっかりと理由と共に教えると理解も早まる。大変な研修でした。
- ・受験生に免疫を高めるSigAについて具体的な方法の話ができる。

3. 熱中症対策で一番困っておられることを具体的にご記入ください。

- ・マスクを外すタイミングが難しい。
- ・コロナ対策を行いながらのため、室温が思うように下がらない。
- ・水分をあまりとらない子どもへの水分補給の仕方。
- ・子ども一人ひとりの水分補給量の把握が難しい。
- ・夏場の熱中症対策とコロナ対策の両立。
- ・マスク生活で表情が読み取りにくく、変化に気づきにくい。
- ・夏季の外遊びのさせ方について。
- ・コロナが不安でマスクをつけたまま体育の授業を受ける児童がいるので、熱中症の危険性があるって困っている。
- ・お茶などの水分をもってこない児童がいる。
- ・体育館にクーラーがないので部活動をする時に心配している。
- ・登下校の熱中症対策。

4. 今後、市教委主催の研修で実施してほしい研修内容がありましたら、ご記入ください。

- ・LGBTQ について
- ・新学習指導要領における 3 観点の成績のつけ方
- ・医師の観点からの熱中症対策
- ・学校現場で気を付ける熱中症対策
- ・タブレットの効果的な使い方
- ・働き方改善に繋がる事例紹介
- ・コーチング
- ・不審者対策
- ・特別支援教育
- ・愛着障がい
- ・教員・児童生徒の心身の健康のための研修
- ・発達障害について

特別支援教育コーディネーター研修研修会 実績報告書

【日 時】 令和3年8月2日（月）14：00～15：30

【場 所】 オンライン開催（市内園のみコミュニティセンターで実施）

【講 師】 北海道教育大学大学委に教育学研究科准教授 川俣 智路 氏

【参加者】 69名（幼稚園・こども園・保育園11名、小学校19名、中学校9名、市外30名）

【テーマ】 学びのユニバーサルデザイン

【ねらい】 ・発達障害等のある特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対する総合的な支援体制の整備・充実を図る。

【コロナウイルス感染予防対策】

- ・オンラインを用いた遠隔研修
- ・席の間隔を一席分開ける。
- ・参加者のマスクの着用及び手指消毒の徹底
- ・参加者の座席把握

【アンケートより】（アンケートに関しては市外の参加者を含めたオンライン参加者のみに実施）

◆ 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4 あまり良くない	5 良くない
保・幼	1	2	1	0	0
小学校	13	18	0	0	0
中学校	8	7	1	0	0
合計	22 (43%)	27 (53%)	2 (4%)	0	0

◆ 主なご意見

研修をして学んだこと

- (1) 支援をするにあたっての新しい視点を学べた。
- (2) 学びのユニバーサルデザイン（UDL）と特別支援教育から生まれたUDの方法との違いが少し分かった。
- (3) 学び方の多様性といわれて久しいけれど、教師が子供たちをどう支援するかという視点で語られることが多かったのが、今日は子供たちが主体的に選択するという視点でお話を聞かせていただけたのが良かったです。
- (4) 学びのユニバーサルデザインできる限り実践してみたいと思います。ありがとうございました。
- (5) 子供の視点に立って考えることができた。交流級ではまだまだ難しい実践法もあったが特別支援級では実績できそうなアイデアがありました。
- (6) 追加的支援を当たり前のようにしていたが、子どもが自己決定する場面を作るために、足場の支援が必要だということがわかったから。
- (7) 理論に基づく実践例が豊富に紹介され、授業の雰囲気がかみやすかった。
- (8) 様々な選択肢を用意しておくことが子どもたちの学びの向上につながるということが分かりました。

- (9) 2学期からの実践に役立つヒントを教えてください、良かったです。ありがとうございました。
- (10) 動画や画像を見ることができたので、実践をイメージしやすかった。「従来の指導場面のイメージ」と「足場の支援によるUDLによる指導場面のイメージ」など、「自分はこれまでどのような言葉がけをしていたかな?」「自分ならこの場面ではどうするだろうか」と考えながら受講することができた。ありがとうございました。
- (11) UDL 学びのユニバーサルデザインの全体像が分りました。選択肢を複数用意して学習者に選ばせることで、主体的に学ぶ姿勢も育っていくのですね。受け身の反応をさせるのではなく、児童に自分で選択できるということからの主体性を生み出す感覚がわかってきました。なかなか日々の準備も大変ですが、それが大切であることがよく分かりました。有難うございます。
- (12) 学習環境に選択肢を持たせることがとても大切になってくるということがよく分かりました。
- (13) 子どもの困り感に寄り添い、私たち教員が教育活動を進めていくことは大切なことだと思います。今日は、具体的なお話を交えて教えていただきました。有難うございました。
- (14) UDL の実践（小学校）を拝見して、学習者の多彩な取り組みの必要性を感じました。児童の取り組む姿勢を大切に、従来の画一的な教育から抜け出せないといけないと思いました。
- (15) カリキュラムの障害を取り除くことやゴールとなぜを明確にするなどUDL を実践するうえで大切にすべきことがよく分かりました。
- (16) 「わかりません」「教えてください」ではなく、自分から自分にあう方法を選んで取り組んでいく。素晴らしいことですね。2学期から「できそう」「できた」の声が増えるよう、取り組んでいけたらと思います。ありがとうございました。また続きのお話があったら、ぜひ聞く機会を作ってほしいです。
- (17) 北海道とオンラインでつないでいただき、貴重な研修ができました。公立学校で取り入れることができるUDLを探り、工夫して実施していきたいと思いました。学校全体での取り組みを考えていけたらと感じています。

研修方法についての感想

- (1) 実際の教室の映像などもあり、分かりやすかったです
- (2) UDLについて何度も研修は受けていたが、今回は事例を動画で具体的に見られたのでよく分かりました。
- (3) 海外での学校の様子を見せていただいて刺激になりました。
- (4) 実際の子どもの学んでいるようすを動画で示してもらって良かったです。
- (5) 具体的な内容で動画もありわかりやすかったです。
- (6) 児童の動画、海外の児童の写真がとても良かったです。時折、小休止を入れてくださりありがとうございました。
- (7) 具体的な事例や動画もありわかりやすかったです。今後の活動にいかせることがたくさんありました。

小学校外国語 授業づくり研修会 実績報告書

【日 時】 令和3年8月2日（月）9：30～12：00

【場 所】 生駒市役所 会議室 401-402

【講 師】 前半「小学校英語における文字指導」教育指導課 指導主事 佐藤真理子

後半「英語の音と文字の関係について」 生駒市 ALT 岸田 Taya

【参加者】 18名

【テーマ】 小学校外国語における音と文字の指導について

【ねらい】 令和2年度より小学校で新学習指導要領が全面実施となった。これまでの外国語活動とは違い、教科としての外国語においては文字指導が新しく導入されている。また、令和3年度より中学校で新学習指導要領が全面実施となり、小学校での教科としての英語学習を大前提としたスタートに切り替わった。子どもたちが中学校での学習をスムーズに進められるよう、小学校でも英語に慣れ親しむだけでなく、基礎知識の定着が必要とされている。今回の研修では、小学校での文字指導について到達目標を明確にするとともに、文字指導（単語の綴り方）と切り離せない英語の音について、教員の理解を深める。

【コロナウイルス感染予防対策】

- ・席の間隔を十分開ける
- ・参加者のマスクの着用及び手指消毒、換気の徹底
- ・参加者の座席把握（座席指定）

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4 あまり良くない	5 良くない
前半	10	4	1	0	0
後半	11	4	0	0	0

2. 本日の研修の内容は、授業づくり、子どもたちへの指導等に役立ちますか

	1 とても役立つ	2 役に立つ	3 あまり役立たない	4 役に立たない	5 わからない
全体	8	7	0	0	0

3. 日頃の外国語活動、外国語の授業で困っておられることがあれば具体的にご記入ください。また、本日の研修に関する感想やご意見などがありましたら、ご記入ください。

- ・自分の発音や文法があっているのかが気になります。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・大変わかりやすくお話いただいて、今までずっと苦手意識を持っていましたが、「楽しくもっと英語を学びたい」という思いを持ちました。今回の内容なら、楽しく学び中学校にもつな

がと思いました。

- ・評価のための振り返りシートなどについて、もっと知りたいです。
- ・発音の大切さが今まであまりピンときていなかった。でも日本語にはない子音や母音を意識することが書くことにもつながることが分かってよかったです。
- ・発音がうまくできずにいましたが、良いサイト等を教えていただいたので練習しようと思います。具体的な資料などたくさんいただいて、有り難かったです。
- ・評価の仕方や業者テストを使うかどうか、など悩んでいます。
- ・いろいろな歌や発音の紹介をしてもらえてよかったです。授業で使えるサイトをもっといろいろ教えてもらいたいです。
- ・中学校への接続をスムーズに行えるような授業内容。

生駒市英語教育小中連携会議 実績報告書

【日 時】 令和3年8月2日（月）13：30～16：00

【場 所】 生駒市役所 会議室 401-402

【参加者】 25名（小学校16名 中学校9名）

【テーマ】 前半 全体会 英語教育における小中連携の必要性について及び実践報告

後半 中学校区別交流会 情報交換及び令和3年度小中連携計画について

【ねらい】 令和2年度より小学校で新学習指導要領が全面実施となった。また、令和3年度より中学校で新学習指導要領が全面実施となり、小学校での教科としての英語学習を大前提としたスタートに切り替わった。子どもたちが中学校での学習をスムーズに進められるよう、小学校教員は中学校入学までに身に付けておくべき力について明確に意識しながら授業を計画することが必要ある。また中学校教員は、小学校での取組内容についての的確に把握し、小学校での学びを活かせる授業を計画しなければならない。当会議においては、小中それぞれの新学習指導要領の内容を確認すると同時に、中学校区ごとの現状を具体的に報告しあい、小中連携計画をたてる。

【コロナウイルス感染予防対策】

- ・席の間隔を十分開ける
- ・参加者のマスクの着用及び手指消毒、換気の徹底
- ・参加者の座席把握（座席指定）

【アンケートより】

1. 本日の研修内容について

	1 とても良い	2 良い	3 普通	4 あまり良くない	5 良くない
前半	10	11	4	0	0
後半	14	9	2	0	0

2. 本日の研修の内容は、授業づくり、子どもたちへの指導等に役立ちますか

	1 とても役立つ	2 役に立つ	3 あまり役立たない	4 役に立たない	5 わからない
全体	10	13	0	0	0

3. 日頃の外国語活動、外国語の授業で困っておられることがあれば具体的にご記入ください。また、本日の会議に関する感想やご意見などがありましたら、ご記入ください。

- ・他校の英語の授業の様子が知れてとても勉強になりました。ありがとうございました。（中）
- ・中学校で習っていることがよく分かりました。今まで聞いたことがなかったので、とても良かったです。これからも連携をとっていきたいです。（小）
- ・文字の学習が難しいということはどの学校も同じでした。ロイロノートを使ってリスニング

や発音練習ができそうだという話がありました。(中)

- ・ どのような方針のもと、小中連携をしていくことが望ましいのか、もう少し詳しくお話が聞きたかったです。各校の実情は違いますが、少し目的がぼやけたまま話し合ってしまったので、今後、小中連携の実践もまとめていただくと助かります。(小)
- ・ 普段話せない小学校の先生と交流できる大切な時間でした。(中)
- ・ 指導要領が変わり、圧倒的に学ぶ単語などの量が増え、なかなか定着させることが難しい状態です。タブレットをどのように使っていけばいいか分からなかったのですが、他の学校の実践報告でお聞きしたように、プレゼンテーションや音読を録音させて提出させたり、使いようによっては便利だと思うこともたくさんあったので、取り入れていきたいです。小中交流で小学校での取組についても知る事ができたので、今後も小中連携を続けていけたらと思います。(中)
- ・ ロイロの使い方など、レッスンに使える方法も教えてもらえたので、実践してみたい。ALTで共有されているサイトや指導方法を学校でもどんどん共有させてもらえたらと思います。(中)
- ・ 同校区の先生方と話ができて、それぞれの学校の様子がきけて良かったです。
- ・ 「書くこと」について、中学校を意識しながら進めていくことが大切だなと感じています。英語嫌いをつくり、日々頑張っていこうと思います。(小)
- ・ 中学校に入ってから「書く」が増え、大変だとお聞きしました。小学校でも文字に触れ合う機会が多い方がいいのかな、と感じました。しかし、小学校で英語ぎらいにはならないようにしたいと思います。(小)
- ・ 単語を書くことの定着が、小から中にかけてギャップがありすぎるので、そこが課題だと感じました。(中)
- ・ 同校区の先生方といろいろなお話や交流ができ、本当に有意義でした。(小)
- ・ 中学校や他の小学校の実態がよくわかりました。(小)

○ 令和3年度生駒市教育委員会主催夏期研修会の総括

- ・ 「深く学ぶクラスを育てる教師の『仕掛け』」をテーマに、主体的・対話的で深い学びを行うための手立てについての講演をオンラインで京都教育大学附属桃山小学校学校の若松俊介先生にいただき、日々の実践に基づく講演で小中学校の先生方に大変好評であった。
- ・ 生駒市熱中症予防対策研修会では、大塚製薬株式会社の南井隆志氏に「コロナ禍中での熱中症対策」について、熱中症発症のメカニズムや免疫力を高める内容で講演いただき、保幼小中の先生方から参考になったという意見を多数いただき好評であった。5年前の事故を風化させたいためにも毎年続けていかないといけないという意見も多く見られた。
- ・ 特別支援教育コーディネーター研修では、学びのユニバーサルデザインをテーマに、オンラインにて北海道教育の川俣智路准教授にご講演いただいた。学びのユニバーサルデザインという視点で特別支援教育を考えることなど、普段はなかなか聞くことができない先生の話聞くことができ、大変有意義時間であったという意見が多く見られた。
- ・ 小学校外国語授業づくり研修では、特に文字指導において小学校での到達目標を明確にすることができた。また、教員自身が英語の音と単語の綴り方に関係性があることを知ることにより、文字指導に関しても音声指導が大切であることを理解してもらえた。小学校での学びが中学校での学習にスムーズに接続できるよう、研修参加教員を通じて、高学年担当教員に広く周知してもらうことが必要である。
- ・ 生駒市英語小中連携会議では、中学校区ごとの教員交流を通して、現状と課題を共有し、子どもたちのスムーズな学びの接続のために必要な小中連携を考えてもらった。2学期以降にそれぞれの中学校区の計画を実現できるようサポートし、実践をまとめて来年度に活かしていきたい。

○ 次年度に向けて

- ・ 熱中症予防対策研修会は、今後も8月16日の「安全を確認する日」に開催し、来年度は学童保育の職員まで周知する。また、研修を行う目的を校長会等を通じて再度確認し、多くの先生方や保護者の参加を呼び掛けていきたい。
- ・ オンラインで行えるものはオンラインを活用した研修も検討していく。
- ・ パソコン研修など平日に行える研修は、本年度同様平日に行う。